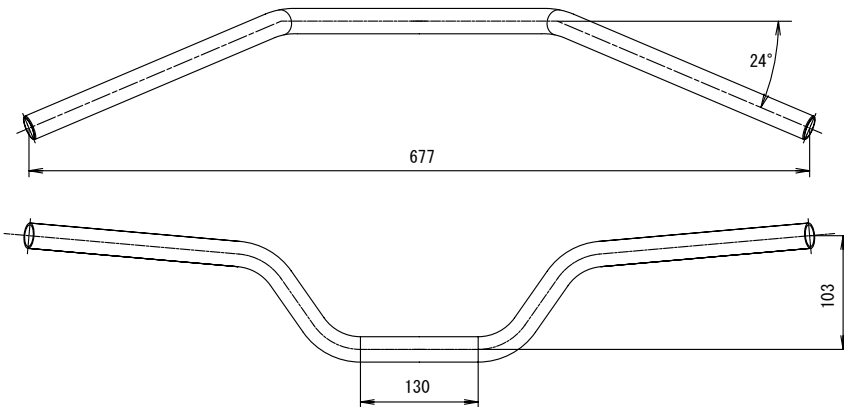


ステアリングハンドル（ツーリングミディアム）取扱説明書

製品番号 06-01-2505

適応車種	PCX (JF28-1000001 ~)
	(JF56-1000001 ~)
	PCX150 (KF12-1000001 ~)
	(KF18-1000001 ~)



※ハンドルパイプ径 22.2mm
肉厚 1.5mm

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎純正のハンドルウエイトは取り付け出来ません。弊社製汎用ハンドルパーエンドをご使用下さい。
詳しくは弊社総合カタログ又はWEB SITE をご覧下さい。 <http://www.takegawa.co.jp>

～特徴～

- このツーリングミディアムは、純正のハンドル高さより若干低く違和感の無い形状としており、サビに強いSUS(ステンレス)材を使用しております。
又、各ハウジング位置決め穴加工済みですので、ボルトオンで取り付け出来るPCX専用のステアリングハンドルパーです。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ハンドルパー両端部には、エッジ及びカエリ等がある場合があります。作業は充分注意して行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 転倒などをした場合、必ず各部を点検しクラック等の異常が有る場合はそのまま使用せず、部品交換を行ってください。
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

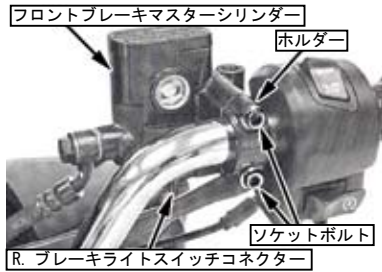
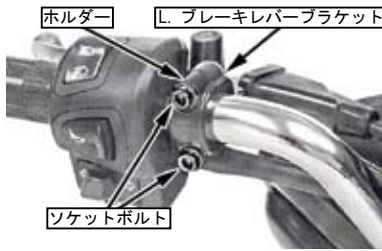
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

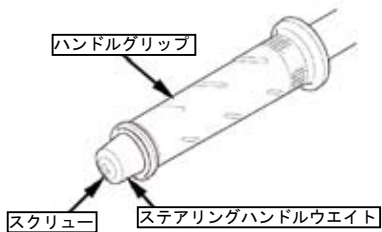
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

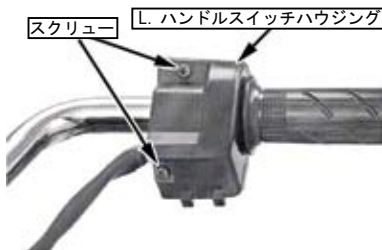
○純正のハンドルからソケットボルトを外し、L/R ブレーキレバーホルダーを取り外します。



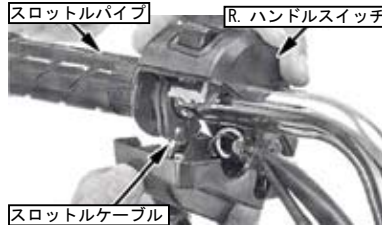
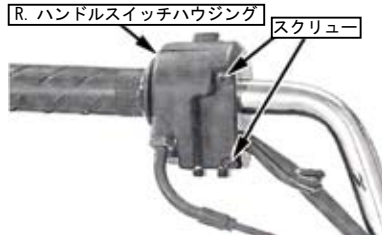
○L/Rハンドルウエイト部のスクリューを外し、エンドウエイトを取り外します。



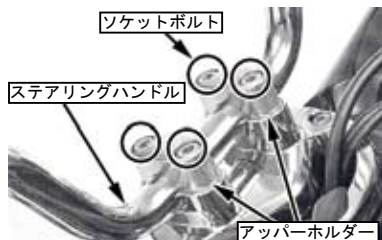
○L. ハンドルスイッチハウジングのスクリューを外し、ハンドルからスイッチハウジングを取り外します。



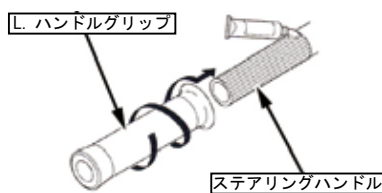
○R. ハンドルスイッチハウジングのスクリューを外し、スイッチハウジングを上下に分割し、スロットルパイプからスロットルケーブルの接続を外し、スイッチハウジングとスロットルパイプをハンドルから取り外します。



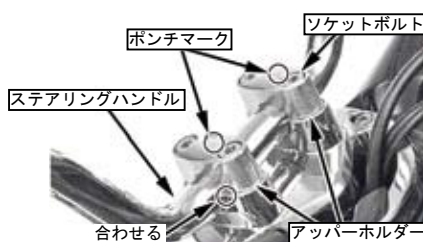
○ハンドルホルダーのボルトキャップを外し、ソケットボルトを外し、ハンドルホルダーからステアリングハンドルを取り外します。



○キットのステアリングハンドルのL. グリップ部接着面にセメダイン #540 を薄く塗布し、使用するグリップを回しながら取り付けます。

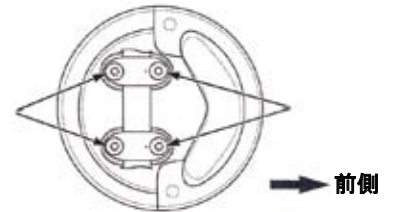


○ハンドルホルダーにキットのステアリングハンドルをセットし、ハンドルアッパーホルダーのポンチマークがある方を前方に向け、ソケットボルトで取り付けステアリングハンドルの位置を調整します。



○ポンチマークのある方(前方)のソケットボルトを規定トルクで締め付けた後、反対側のソケットボルト(後方)を規定トルクで締め付けボルトキャップを取り付けます。

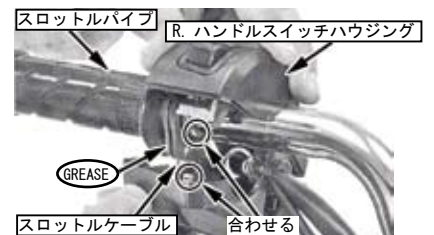
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



○ステアリングハンドルのスロットルパイプ部摺動面に薄くグリースを塗布し、取り外しと逆手順でステアリングハンドルにスロットルパイプ、スロットルケーブルを取り付けスイッチハウジングの突起部をステアリングハンドルの穴位置に合わせて取り付け、スクリューを規定トルクで締め付けます。

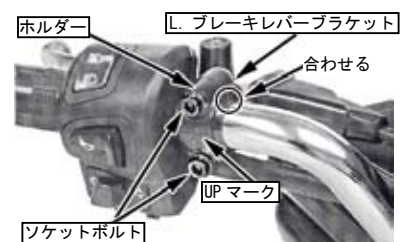
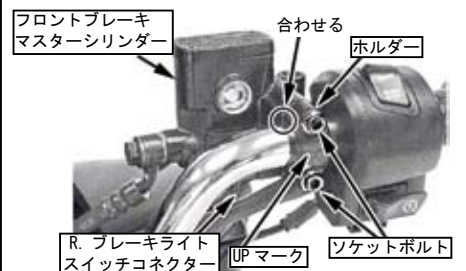
L. スイッチハウジングも同様に突起部をステアリングハンドルの穴位置に合わせて取り付け、スクリューを規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：2.5N・m (0.26kgf・m)



○取り外したL/Rブレーキレバーホルダーを取り付けます。ホルダーのUPマークを上にして取り付け、上側のボルト(UPマーク側)から規定トルクで締め付けた後、下側のボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○バックミラーを取り付けワイヤーハーネスの取り回しを行い、ワイヤーバンドを取り付けます。

○使用するパーエンドの取り付け要領に従い、左右のパーエンドを取り付けます。